

雲南市総合戦略マネジメントシート 〈平成27年度実績の評価〉

作成日 平成 28 年 6 月 3 日
更新日 平成 28 年 8 月 22 日

総合戦略区分	人材の育成・確保	チームリーダー	政策推進課長 熱田勇二
(プロジェクトチーム)	(チャレンジ創生プロジェクトチーム)	関係課	政策推進課、地域振興課、うんなん暮らし推進課、情報政策課、健康福祉総務課、健康づくり政策課、産業推進課、学校教育課、社会教育課キャリア教育推進室

1. 「人材の育成・確保」の基本方針と指標(目標値及び実績値)

総合戦略に定めた基本方針	「キャリア教育」による将来の担い手育成(子どもチャレンジ)、志ある若者の誘致・育成による地域課題解決の推進(若者チャレンジ)、「地域自主組織」による住民主体の地域づくり(大人チャレンジ)の3つのチャレンジを連鎖させ、まちづくりの担い手となる「人材の育成・確保」を図る。								
成果指標(KPI)	地域課題を地域主体で解決できていると感じる市民の割合	単位	区分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		%	目標	—	50.0	50.0	55.0	58.0	60.0
			実績	45.1	45.4				

2. 分野の取組方針と目的・指標(目標値及び実績値)

プロジェクト名	総合戦略に定めた取組方針								
	目的(対象・意図)								
	成果指標(KPI)	単位	区分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
プロジェクト① 質の高い教育の提供による将来を担う人材の育成	[取組方針] 学校・地域・家庭・NPO等との協働により保幼小中高一貫した多様なキャリア教育の展開と学力向上を図り、将来のまちづくりの担い手を育成する。								
対象	対象	意図							
	幼稚園児	体力、正しい生活習慣を身につける							
	小学校の児童、中学校・高校の生徒	確かな学力を身につける(基礎学力を高める) / 【小学生】ふるさとへの愛着と誇りをもつ / 【中学生】地域課題や地域貢献に関心をもつ / 【高校生】地域課題に対し、主体的に解決策を考え、実践する							
	不登校児童生徒	学校での生活や学びに意欲をもってもらう							
<重要KPI>	A 地域や社会を良くするために何をすべきか考えたことがある中3生の割合	%	目標	—	32.5	36.0	39.5	43.0	46.2
			実績	29.0	32.6				
<重要KPI>	B 地域課題に対し、解決策を考え、実践したことのある高3生の割合	%	目標	—	50.0	55.0	60.0	65.0	70.0
			実績	—	50.0				
	C ふるさとが好きな子ども(小6)の割合	%	目標	—	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
			実績	94.2	94.6				
	D ふるさとが好きな高3生の割合	%	目標	—	70.0	72.5	75.0	77.5	80.0
			実績	—	67.9				
	E 将来、雲南市で働きたい高3生の割合	%	目標	—	46.4	49.8	53.2	56.6	60.0
			実績	—	46.4				
	F 学力調査結果(正答率)が全国平均を上回る(小6) 国A	点	目標	—	1.0	1.1	1.2	1.3	1.5
			実績	△ 1.3	△ 2.0				
	G 学力調査結果(正答率)が全国平均を上回る(小6) 数A	点	目標	—	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8
			実績	△ 4.3	△ 1.0				
	H 学力調査結果(正答率)が全国平均を上回る(中3) 国A	点	目標	—	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2
			実績	0.7	1.5				
	I 学力調査結果(正答率)が全国平均を上回る(中3) 数A	点	目標	—	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9
			実績	△ 0.5	△ 0.8				
	J 教育支援センター登録者のうち学校復帰・進路実現できた不登校児童生徒の割合	%	目標	—	80.0以上	80.0以上	80.0以上	80.0以上	80.0以上
			実績	—	92.9				
プロジェクト② 大学機関やNPOと連携した課題解決人材の育成	[取組方針] 本気で学びたい大学生に地域課題解決の現場を学ぶフィールドワークやインターンシップなどの学習プログラムを提供する「雲南コミュニティキャンパス」を開校し、課題解決スキルをもつ人材の育成・確保を図る。								
対象	対象	意図							
	県内外の大学生	地域課題解決スキルを身につける							
	学生を受け入れる市民	学生との学び合いの中で課題解決力を身につける							
<重要KPI>	A UCC参加をきっかけにUターンした雲南市出身の学生数	人	目標	—	1	2	3	3	
			実績	—	0				
<重要KPI>	B UCC参加をきっかけにUターンした学生数	人	目標	—	2	2	2	2	2
			実績	—	0				
	C UCC参加をきっかけに雲南市内の地域活動に複数回参加した学生の割合	%	目標	—	25.0	30.0	35.0	40.0	40.0
			実績	—	26.0				
	D UCC参加をきっかけに雲南市内の地域活動に複数回参加した学生数(ユニーク数)	人	目標	—	15	18	21	24	24
			実績	—	15				
	E 大学生と協働で地域課題解決に取り組む市内団体数	団体	目標	—	3	3	3	3	3
			実績	—	3				
プロジェクト③ 課題解決人材の育成による若者チャレンジの創出	[取組方針] 中間支援組織や都市圏の社会起業家等と連携し、市内外の志ある若者の育ち合いを促進し、課題解決スキルをもつ若者の育成・確保と課題解決ビジネスの創出を図る。								
対象	対象	意図							
	市内外の志ある若者	①地域課題解決にチャレンジする ②課題解決ビジネスを創出する							
<重要KPI>	A 課題解決ビジネスの創出数・従事者数(事業主含む)(累計)	件・人	目標	—	2・4	4・9	6・15	8・22	10・30
			実績	—	3・7				
	B 地域課題解決へチャレンジしようとした人数	人	目標	—	10	10	10	10	10
			実績	—	18				
	C 地域課題解決にチャレンジし、今後も継続が明確な活動件数	件	目標	—	10	15	20	25	30
			実績	—	10				

プロジェクト名	総合戦略(H27～H31年度)に定めた取組方針									
	目的(対象・意図)									
	成果指標(KPI)	単位	区分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
プロジェクト④ 産業振興センターの機能強化による新たな産業創出	[取組方針] 専門スタッフやアドバイザーの配置等により、地域産業を支える多様な産業人材の育成・確保や市内事業所の販路開拓支援を進め、新たな産業創出を図る。									
	対象	新事業に取り組む者		意図 起業創業(事業承継含む)、または事業拡大し、事業を軌道にのせる						
<重要KPI>	A	起業創業件数(事業拡大含む)(累計)	件	目標	—	10	20	30	40	50
				実績	5	6				
<重要KPI>	B	事業承継の成立件数(累計)	件	目標	—	0	3	6	9	12
				実績	—	0				
<重要KPI>	C	起業創業・事業承継に伴う雇用創出人数(累計)	人	目標	—	10	23	36	49	62
				実績	—	11				
<重要KPI>	D	販路開拓の新規開拓数(累計)	件	目標	—	1	6	11	21	31
				実績	—	1				
プロジェクト⑤ 地域やNPOと連携した課題解決人材のUIターン促進	[取組方針] 地域自主組織やNPO等と連携した取り組みや積極的な情報発信により、地域課題解決に関心の高いUIターン者や活動実践者を獲得する。									
	対象	課題解決人材 課題解決人材となりうる人		意図 雲南市へ移住する又は雲南市で活動する						
<重要KPI>	A	地域課題解決を志すUIターン者又は市外在住者の人数	人	目標	—	24	25	35	35	35
				実績	5	23				
プロジェクト⑥ 地域自主組織の活動基盤強化による住民主体の地域づくり	[取組方針] 地域自主組織の法人化や人材育成など活動基盤の充実強化を図り、住民主体の地域づくり活動を促進する。									
	対象	地域自主組織		意図 地域課題解決に取り組みやすい環境を整える						
<重要KPI>	A	地区計画策定済・策定中の地域自主組織数	団体	目標	—	26	30	30	30	30
				実績	23	24				
成果指標の測定規格(実績値の把握方法)	プロジェクト① 質の高い教育の提供による将来を担う人材の育成									
	A・B・C・D・E) 児童・生徒の意識調査 F・G・H・I) 学力実態調査 J) キャリア教育推進室で実数値を把握									
	プロジェクト② 大学機関やNPOと連携した課題解決人材の育成									
	A・B・C・D) 名簿管理・追跡調査 E) 政策推進課で大学の授業としてではなく、大学生主体の課題解決活動に地域も協働で取り組む事例を調査し把握									
	プロジェクト③ 課題解決人材の育成による若者チャレンジの創出									
	A) 若チャレCNの活動実績 / B) 幸雲南塾生・ラボアカデミー生の人数(※実践問わず) C) 幸雲南塾生・ラボアカデミー生(OB・OG含む)の実践件数									
	プロジェクト④ 産業振興センターの機能強化による新たな産業創出									
	A) 創業支援計画(中小企業庁)に基づく実績値 / B) 支援チームの活動実績(追跡調査) C) A・Bの実績値 / D) 販路開拓アドバイザーの活動実績									
	プロジェクト⑤ 地域やNPOと連携した課題解決人材のUIターン促進									
	A) 下記①～⑤の合計 ①幸雲南塾参加者(一般聴講含)のうち市内で地域課題解決にチャレンジしようとするUIターン者又は市外在住者数【幸雲南塾申込フォームにより実績値把握】 / ②起業創業・事業承継したUIターン者又は市外在住者数【創業支援計画(中小企業庁)に基づく実績(該当者へ聞き取り)】 / ③地域自主組織の担い手となったUIターン者数【地域づくり応援隊事業の実績(開始者の人数)】 / ④UIターンしまね体験事業の開始者数【UIターンしまね体験事業の実績】 / ⑤その他体験事業によるUIターン者数【就農サポート事業、介護人材確保事業など④以外の体験事業の実績】									
プロジェクト⑥ 地域自主組織の活動基盤強化による住民主体の地域づくり										
A) 地域自主組織へ聞き取り調査										
主要事務事業	プロジェクト① 質の高い教育の提供による将来を担う人材の育成									
	キャリア教育推進事業(NPOとの協働によるキャリア教育の推進)、土曜日の教育支援事業、教育フェスタ事業、幸雲南塾inさんべ、郷土・伝統・文化推進事業、「夢」発見ウィーク事業、学校「夢」プラン事業、カタリバ体験事業、教育魅力化推進事業、UNNAN学びサポート事業、ICTを活用した協働学習調査研究事業、キャリア教育推進事業(NPOとの協働による不登校対策支援)									
	プロジェクト② 大学機関やNPOと連携した課題解決人材の育成									
	コミュニティキャンパス推進事業、大学連携事業									
	プロジェクト③ 課題解決人材の育成による若者チャレンジの創出									
	課題解決型人材育成・確保事業、ノウハウ移転推進事業、地域医療人材の誘致・育成事業									
	プロジェクト④ 産業振興センターの機能強化による新たな産業創出									
起業創業・経営支援事業、雲南市産品販路拡大事業										
プロジェクト⑤ 地域やNPOと連携した課題解決人材のUIターン促進										
UIターンしまね地域づくり活動体験推進事業、UIターンしまね産業体験推進事業、UIターン介護人材確保事業、アグリキャンパス事業、シェアオフィス調査研究事業										
プロジェクト⑥ 地域自主組織の活動基盤強化による住民主体の地域づくり										
持続可能型地域推進事業、地域づくり応援隊配置事業										

3. H27年度事務事業の総括

《人材の育成・確保》

プロジェクト名	取り組んだ事務事業の総括
① 質の高い教育の提供による将来を担う人材の育成	<p>○専門スキル・ノウハウをもつNPO法人との協働での取り組みにより、キャリア教育プログラムの充実が図れ、中高生の地域課題や地域貢献への関心が高まっている(地域や社会を良くするために何をすべきか考えたことのある生徒の割合:【中3】32.6%/前年29%【高3】71.4%/前年数値なし)。</p> <p>○土曜学習について、学校、家庭等への広報・周知が行き届いていないことから、参加率の拡大に向けて改善が必要(中学生参加者数:延べ311人/総数1918人)。</p> <p>○学力向上については、スーパーティーチャー(高い指導力をもつ教員等)を活用した教員への授業指導や師範授業等を行い、262人の教職員の参加につながった。</p> <p>○不登校対策については、NPO法人との協働により、新しい体制で取り組みを行ったが、学校、家庭、関係機関との連携のもときめ細やかな対応が図れた。</p>
② 大学機関やNPOと連携した課題解決人材の育成	<p>○「UCC構想」を具現化するビジョン策定に取り組み、事業の推進体制やプログラムの具体化が図れた。</p> <p>○試行プログラムでは、島根大学、東大医学部、早稲田大学等と連携し、10大学・58人の学生の参加が得られた。</p>
③ 課題解決人材の育成による若者チャレンジの創出	<p>○コーディネーター人材の配置により、幸雲南塾生やOB等の活動支援のほか、新たにチャレンジしたい若者等の相談指導等を行った(62人・105件)。</p> <p>○若手看護師による訪問看護事業所や地域と連携したコミュニティビジネスが立ち上がり課題解決ビジネスの先行モデル創出が図れた(課題解決ビジネス創出数:3件・7人)。</p> <p>○中間支援組織と連携し、金融機関や産業支援機関との連携を考える勉強会を開催した(参加:金融6機関、産業支援2機関)。</p>
④ 産業振興センターの機能強化による新たな産業創出	<p>○企業誘致専門員の選定に時間を要し、事業着手が年度後半以降となった。</p> <p>○地域資源を活用した新商品開発を促進し大都市圏等への販路開拓を行うため、こだわりの食材を取扱う自然食品専門店での試食商談会等を開催した(自然食品専門店との商品取引事業者1社増・累計6社)。</p> <p>○後継者不足の解消につなげるため、市内事業者と若手起業家とのマッチングを促進するセミナーを開催(延べ83名参加)。また、地域内での第2創業や事業承継が活発化するよう企業経営支援体制を強化し、新事業創出に取り組んだ。</p>
⑤ 地域やNPOと連携した課題解決人材のUIターン促進	<p>○東京・大阪・広島でのUIターンイベントやソーシャル活動に関心が高い人が集まるイベントに参加し、雲南市のNPO関係者や先輩UIターン者が移住体験や現在の活動等を伝える機会を設けるなど、社会起業や地域貢献等に関心のある若者に対し積極的な情報発信を行った。</p> <p>○木次駅前商店街にシェアオフィス&コワーキングスペース「三日市ラボ」をH27年5月開設し、「三日市ラボ」に行けば誰かいて、新たな情報が得られ、チャレンジの一步を踏み出すことができる空間として利用されている(2階シェアオフィスの月平均利用者5.7人。うち半数以上がUIターン者又は市外在住者)</p>
⑥ 地域自主組織の活動基盤強化による住民主体の地域づくり	<p>○法人制度については、全国ネットワーク組織を通じて国への提言書を提出したことにより、3月から内閣府で有識者会議が発足した。引き続き国の動向を注視し、必要な対策を講じていく必要がある。</p> <p>○地域づくり応援隊について、事業初年度であったため、対象地区の選定等に時間を要し、人材募集開始時期が年度中途となったことから、結果として3地区のうち1地区はH28年度からの人材配置となった。</p>

4. 今後の主な課題とH29年度の方針案

《人材の育成・確保》

区分	今後の主な課題(H28～H31年度)	H29年度の方針案
人材の育成・確保	○地域課題解決に主体的に取り組む人材の育成・確保	▶高校、大学との連携・協働体制を構築し、人材の育成・確保に向けた取り組みを加速させる。 ▶関係機関と連携協働し、活動の事業化など起業創業支援に積極的に取り組む。 ▶人材を求める分野や地域への人材誘致・確保に取り組む。
プロジェクト名	今後の主な課題(H28～H31年度)	H29年度の方針案
① 質の高い教育の提供による将来を担う人材の育成	○高校との連携強化による一貫したキャリア教育のさらなる充実。 ○児童生徒の基礎学力向上に向けた教員の授業力向上と放課後の学習支援の推進。 ○持続的、効果的な事業展開に向けた学校・家庭・地域・企業・NPO法人など多様な主体との連携・協働による事業推進体制の構築。 ○国の動向を踏まえた奨学金制度の創設。	▶コーディネーター制度(教育支援CN、地域CN)をより有効に機能させるための業務内容・体制(NPO法人との連携体制含む)の見直しを図るとともに、高校担当の専任職員を配置する。 ▶土曜学習の参加拡大に向け取り組む。 ▶学力向上指導員及びスーパーティーチャーにより、教員の授業力向上を図る。 ▶放課後学習支援のモデル地域を確立する。
② 大学機関やNPOと連携した課題解決人材の育成	○地域やNPO等と連携した学習プログラムの充実。 ○大学機関と連携した単位認定制度の確立。 ○効果的な情報発信による関心のある大学生の誘致及び連携大学の確保。	▶大学生の定住定着に向け、地場企業等と連携したプログラムの拡充を図る。 ▶島根大学COCコースと連携したインターンシッププログラムに取り組む。 ▶H28年度の成果を積極的にPRし、関心のある大学生や大学機関の確保に取り組む。
③ 課題解決人材の育成による若者チャレンジの創出	○活動の持続性・継続性を高めていくためのビジネスモデル化の推進。 ○地域自主組織との連携促進。 ○中間支援組織や金融機関、産業支援機関等と連携した支援体制の構築。 ○市民ファンドの創設など民間資金活用の仕組みづくり。	▶中間支援組織や都市圏社会起業家等と連携し、地域課題解決に向けた活動のビジネス展開支援に取り組む。 ▶幸雲南塾生と地域自主組織の連携を促進する。 ▶中間支援組織や金融機関、産業支援機関と連携した支援体制や、持続可能な資金調達の仕組みの構築に取り組む。
④ 産業振興センターの機能強化による新たな産業創出	○市内企業・事業所の経営安定化及び事業拡大。 ○後継者不在の事業所と起業創業に関心のある若手人材とのマッチング。 ○都市圏への販路拡大。	▶産業振興センターの機能を見直し、起業創業や事業承継への支援を強める。 ▶都市圏のバイヤー等を対象とした商談会を積極的に開催し、販路拡大を図る。
⑤ 地域やNPOと連携した課題解決人材のUIターン促進	○雲南市の魅力や取り組みの効果的な発信。 ○地域の課題や求める人材を明確にしたUIターン促進。 ○地域自主組織やNPO、企業等と連携した推進体制づくり。	▶人材確保が困難な職種へのUIターン就職の促進に取り組む。 ▶都市圏等のイノベーター(革新的)人材を呼び込むための事業企画に取り組む。 ▶地域おこし協力隊制度を有効活用し、専門性が求められる分野の人材確保に取り組む。
⑥ 地域自主組織の活動基盤強化による住民主体の地域づくり	○地域自主組織の法人制度の創設。 ○後継者の育成・確保。	▶法人制度については、国の有識者会議の状況を踏まえて必要な対策を講じる。 ▶課題解決と後継者対策を一体的かつ継続的に進めていくための仕組みの整備に取り組む。 ▶外部人材を有効活用し、地域の内発力を高める。